

質の高い看護へ研究発表

県協会 真庭支部 6グループ 成果報告

より質の高い看護を提供しようと、県看護協会真庭支部（梶谷美智代支部長）は6日、真庭市落合垂水のシヨッピンクセンター・サンプラザで研修会を開き、市内の病院に勤務する看護師らが研究発表をした。

科の生徒ら計約100人が参加。病院や真庭保健所の6グループが日ごろの業務を通じ、研究した成果を報告した。

「から食べたい」という希望の実現に向け、スナップが意識統一した。情報を共有し口腔ケアや機能訓練に当たったことで適切な支援ができ、症状の改善につながった」と連携の重要性を訴えた。

看護師や真庭高専攻

田病院)は「患者の口

飲み忘れや重複の防止

栄養改善指導、薬の

策などの発表もあつた。参加者は熱心にメモを取ったり質問するなどの発表もあつた。参加者は熱心にメモを取ったり質問するなどの発表もあつた。参加者は熱心にメモを取ったり質問するなどの発表もあつた。

支援の在り方を探った。(井上恭之)

岡山県看護協会 真庭支部 研修会



研究発表が行われた研修会